2022 年 1 月 5 日

フィリップ証券
A Member of PhillipCapital

ゲンティン・シンガポール（GENS）

政府による「ワクチン・トラベルレーン」対象国拡大、オミクロン株感染への柔軟対応で外国人観光客増加を期待

シンガポール | カジノ・ゲーミング | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG GENS:SP | REUTERS GENS.SI

- 2021/12期3Q（7-9月）の事業報告は、売上高が前年同期比16.4%減、調整後EBITDAが同31.2%減。新型コロナ感染防止対応が響いた。
- 日本の横浜IR計画撤回に伴う事業参加申込前払金の戻入れ等の一時的要因により、前年同期比、前四半期比ともに最終増益を確保した。
- 政府による「ワクチン・トラベルレーン」対象国拡大およびオミクロン変異株感染への柔軟な対応が外国人観光客の増加に繋がろう。

What is the news?

11/9発表の2021/12期3Q（7-9月）の事業報告は、売上高が前年同期比16.4%減の2.51億SGD、調整後EBITDAが同31.2%減の1.02億SGD、純利益が同15.0%増の6,070万SGD。営業を継続することができたものの、集団の人数規制や飲食店での食事禁止といった新型コロナ感染拡大防止のための安全管理措置の実施が響いて減収・調整後EBITDA減益となった。一方で、外国為替換算益や日本の横浜IR（統合リゾート）計画撤回に伴う事業参加申込前払金の戻入れなど一時的な要因により最終増益を確保した。前四半期比でも、売上高が9.1%減、調整後EBITDAが30.7%減、純利益が13.1%増だった。

3Qのセグメント別の売上高は以下の通り。①カジノなどゲーミング部門は、前年同期比8.6%減の1.94億SGD、前四半期比では13.9%減。②ホテル宿泊部屋事業、アトラクション事業などを含む非ゲーミング部門は、前年同期比6.2%減の5,619万SGD、前四半期比では11.7%増と伸長。③その他のホスピタリティや支援サービスおよび投資ビジネスを含むその他事業が前年同期比98%減の60万SGD、前四半期比では20%増だった。

How do we view this?

45億SGDに上る大規模拡張計画である「RWS（リゾート・ワールド・セントーサ）2.0」について、新型コロナウイルス感染防止のための設計変更に基づく改装が進行中である。同計画の目的は、訪問者に安心感を与えるためだけではなく「持続可能且つ革新的な都市として1番になるというシンガポールのビジョンに沿った持続可能な都市の機能」を与えることであり、2030年までにセントーサ島をカーボン・ニュートラル（炭素中立）な場所に変えていく目標を掲げている。

シンガポール政府は、ワクチン接種済みの渡航者について隔離なしでの相互往来を行う「ワクチン・トラベルレーン（VTL）」の対象国を12/16現在で27ヵ国に拡大。感染力が強いとされる新型コロナ・オミクロン変異株に対しても、国内での感染や海外での流行好況を踏まえ、「重症化リスクが少ない」として感染者や濃厚接触者を指定の場所に隔離してきた対応を改め、12/27から自宅療養を認めることとした。外国人観光客への依存度が高い同社の業績を後押しするものと期待されよう。

業績推移　※参考レート 1SGD=85.69円

事業年度	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12F	2022/12F
売上高(百万SGD)	2,539	2,480	1,063	1,173	1,830
当期利益(百万SGD)	755	688	69	201	427
EPS(SGD)	0.06	0.05	0.01	0.02	0.04
PER（倍）	13.00	15.60	78.00	45.88	21.67
BPS(SGD)	0.64	0.66	0.64	0.65	0.66
PBR（倍）	1.22	1.18	1.22	1.20	1.18
配当(SGD)	0.04	0.04	0.01	0.02	0.02
配当利回り（%）	5.13	5.13	1.28	2.56	2.56

（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg）

配当予想（SGD）	**0.02**	（予想はBloomberg）
終値（SGD）	**0.780**	2022/1/4

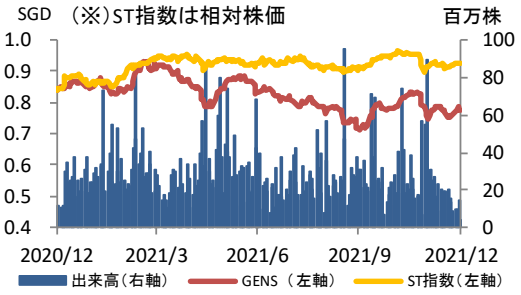
会社概要

マレーシアの実業家・富豪であるリム・ゴートンが設立したコングロマリットのゲンティン社を親会社とする。1984年にマン島で設立後、2005年にシンガポール取引所に上場。2018年に英国マン島からシンガポールに住所を移転した。30年以上にわたり、オーストラリア、バハマ、マレーシア、フィリピン、シンガポール、英国で、カジノ（ゲーム）および統合リゾート（Integrated Resort: IR）の開発を手掛けてきた。

2010年にシンガポールの一大観光地セントーサ島にファミリー向けトロピカルリゾートとして開発した「リゾート・ワールド・セントーサ」は、ユニバーサルスタジオ・シンガポールやS.E.A水族館をはじめとする世界屈指のエンタテイメント施設であり、東南アジアで最大クラスの統合リゾートである。シンガポール初となるカジノのほか、6つのホテル、博物館といった様々なリゾート施設・設備が一堂に集まっている。

企業データ（2022/1/5）

ベータ値	1.19
時価総額（百万SGD）	9,471
企業価値=EV（百万SGD）	6,529
3ヵ月平均売買代金（百万SGD）	19.0



（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

主要株主（2022/1）　（%）

1.ゲンティン	52.66
2.VANGUARD GROUP	1.55
3.ﾌﾞﾗｯｸﾛｯｸ	1.32

（出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

リサーチ部

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】
本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社　〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 4 番 2 号
TEL:03-3666-2101　　URL：http://www.phillip.co.jp/
本レポートの作成者：公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則　平 14.1.25」に基づく告知事項＞
・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。